

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|       |                                     |       |              |
|-------|-------------------------------------|-------|--------------|
| 事業所番号 | 4170100509                          |       |              |
| 法人名   | 有限会社 ヒューム                           |       |              |
| 事業所名  | グループホーム 明日葉                         |       |              |
| 所在地   | 佐賀市金立町金立1844-3<br>(電話) 0952-71-8555 |       |              |
| 評価機関名 | 社団法人 佐賀県社会福祉士会                      |       |              |
| 所在地   | 佐賀市八戸溝1丁目1224番2                     |       |              |
| 訪問調査日 | 平成 19年9月27日                         | 評価確定日 | 平成 19年10月23日 |

## 【情報提供票より】(平成 18年12月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |              |                          |     |
|-------|--------------|--------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成 15年 8月 1日 |                          |     |
| ユニット数 | 1 ユニット       | 利用定員数計                   | 9 人 |
| 職員数   | 11 人         | 常勤 7人, 非常勤 4人, 常勤換算 4.3人 |     |

### (2) 建物概要

|      |          |       |  |
|------|----------|-------|--|
| 建物構造 | 木造モルタル造り |       |  |
|      | 2 階建ての   | 1 階部分 |  |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |          |                |          |
|---------------------|----------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額)            | 30,000 円 | その他の経費(月額)     | 円        |
| 敷金                  | 有( 円)    | 無              |          |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)    | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無      |
| 食材料費                | 朝食       | 200 円          | 昼食 300 円 |
|                     | 夕食       | 400 円          | おやつ 円    |
|                     | または1日当たり |                | 900 円    |

### (4) 利用者の概要( 9月27日現在)

|       |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 9 名     | 男性 1 名  | 女性 8 名  |
| 要介護1  | 1 名     | 要介護2    | 5 名     |
| 要介護3  | 3 名     | 要介護4    | 名       |
| 要介護5  | 名       | 要支援2    | 名       |
| 年齢    | 平均 85 歳 | 最低 79 歳 | 最高 95 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 協力医療機関名 | ひげドクターのお元気でクリニック・佐賀記念病院・はっとり歯科医院 |
|---------|----------------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

佐賀市金立の閑静な場所に位置し、大きな庭園を有するグループホームであった。入居者は日頃から近隣の散歩や、庭園の散策、東屋でのお茶など地域の人々と触れ合う機会を多く持てるように支援されていた。元気になるれば、家族のもとに戻ってあげたいという考えから、入居者と共に助け合い自立を目指したケアに取り組み、月一回の外泊や頻繁な家族の訪問など家族とのより良い関係も築かれていた。運営推進会議での話し合い、同業者との交流、外部評価の結果を家族に配布し意見をもらうなど、サービスの質の向上に積極的に取り組まれていた。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)   |
|       | 前回の外部評価の結果を踏まえて、食べやすい御膳の高さの工夫など、具体的に改善に向けた取り組みがなされていた。   |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  |
|       | 評価は、入居者が心地よい環境の中で生活できるための基本と考えられ、自己評価はミーティングなどを利用して、職員全員で取り組まれていた。   |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)   |
|       | 運営推進会議では、グループホームの行事内容や方法、地域とのつきあい方、外部評価の結果などについて意見をもらい、サービスの質の向上に活かされていた。  |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)  |
|       | 意見箱を設置したり、家族の訪問や家族会の時に問いかけを行い、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意されていた。また、外部の相談窓口の案内を玄関に掲示して、職員に言えないことも相談できる場があることを繰り返し説明されていた。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)   |
|       | 回覧版や声かけにより、地域の草切りや川掃除に職員が必ず参加し、グループホームの行事についても、回覧版を通じて地域の人々に積極的に働きかけ、夏祭りなどに参加してもらうことで交流が図られていた。                    |

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |  |      |                                   |
| 1. 理念と共有              |    |   |  |      |                                   |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 元気になるれば、家族のもとに戻ってあげたいという考えから家庭的な雰囲気の中で、入居者と共に助け合い、自立を目指した独自の理念を職員全員でつくりあげていた。                      |      |                                   |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 職員の目につく玄関や台所に掲示して、常に意識づけがされており、家庭的な雰囲気の中で、入居者と共に助け合い自立を目指したケアに取り組まれていた。                            |      |                                   |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |  |      |                                   |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 回覧版や声かけにより、地域の草切りや川掃除に職員が必ず参加していた。グループホームの行事についても、回覧版を通じて地域の人々に積極的に働きかけ、夏祭りなどに参加してもらうことで交流が図られていた。 |      |                                   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |  |      |                                   |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 自己評価は、ミーティングなどを利用して、職員全員で取り組まれていた。また、外部評価の結果を踏まえ、食べやすい御膳の高さの工夫など、改善に向けた取り組みがなされていた。                |      |                                   |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、行事の内容や地域とのつきあい方、外部評価の結果などについて意見をもらい、サービスの向上に活かされていた。                                      |      |                                   |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | グループホームの運営に対し意見をもらうため、夏祭りや家族会への参加を積極的に呼びかけられていた。   |      |                                   |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |  |      |                                   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 毎月の請求書送付の際に、健康状態や暮らしぶりについて便りで知らせると共に、家族の訪問時には声をかけ、健康状態に異常が見られる場合には、その都度報告がされていた。                               |      |                                   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 意見箱を設置したり、家族の訪問や家族会の時に問いかけ、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意されていた。また、外部の相談窓口の案内を玄関に掲示し、職員に言えないことも相談できる場があることを繰り返し説明されていた。 |      |                                   |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 顔馴染みの職員によるケアを心がけられているが、結婚や転居などやむを得ない事情で職員が入れ替わる際には、半月から一ヶ月の間は新しい職員と共に出勤して引継を行うなど、入居者のダメージを防ぐ配慮がなされていた。         |      |                                   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |  |      |                                   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 外部の研修には、職員が交代で参加し、ミーティングの際に研修内容について報告が行われていた。また、内部の研修は、担当を決めて行われていた。   |      |                                   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 近くの宅老所との交流や協力医療機関が開催する勉強会に管理者・職員が積極的に参加し、他のグループホームとの交流を持つことで、サービスの質の向上を目指されていた。                                |      |                                   |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |  |   |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |   |      |                                  |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に食事代のみで一日から二日程体験入居してもらったり、慣れられるまで何度か家族と入居者が訪問し、日中一緒に過ごす時間を提供するなど、安心して納得しながらサービスを利用できるような工夫がなされていた。 |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |   |      |                                  |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                      | 入居者の気持ちになって一緒に過ごすことにより、共に支えあう関係が築かれていた。   |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |   |      |                                  |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 入居者の思いや暮らし方の希望を実施するために、本人や家族を含め職員間で検討されていた。   |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |   |      |                                  |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 毎月のミーティングで、職員、家族と共に話し合いを行い、家族の意見も取り入れられ本人の状態に合った介護計画が作成されていた。   |      |                                  |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 入居者の状態に応じた介護計画の見直しが行われていた。また、介護計画の変更を望まれない家族に対しては、本人の現在の状態を説明し、家族、職員の意見を取り入れた対応がされていた。                |      |                                  |

| 外部                                     | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) |    |   |   |      |                                   |
| 17                                     | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                           | 基本的には家族同行の通院であるが、入居者や家族の状況に応じて、職員が通院を行うなど柔軟に対応されていた。                            |      |                                   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働            |    |   |   |      |                                   |
| 18                                     | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 本人や家族が希望する主治医となっていた。訪問診療を行う協力医療機関へ主治医を変更する場合は、医師と面談し、納得が得られたうえで行われていた。          |      |                                   |
| 19                                     | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方については、主治医、家族を交えて繰り返し話し合いを行い、職員間にも対応方針の統一が図られていた。                 |      |                                   |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援              |    |   |   |      |                                   |
| 1. その人らしい暮らしの支援                        |    |   |   |      |                                   |
| (1)一人ひとりの尊重                            |    |   |   |      |                                   |
| 20                                     | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 記録などの個人情報については、情報漏れがないように、鍵のかかる場所に保管され、トイレ・入浴時における声かけにも、プライバシーを損ねない十分な配慮がされていた。 |      |                                   |
| 21                                     | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 買物や散歩、百人一首やテレビなど入居者一人ひとりの希望やペースに配慮しながら柔軟に対応されていた。                               |      |                                   |

| 外部                                  | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                   |
| 22                                  | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食材の買物からごぼうの千切りやジャガイモの皮むきなどの食事の準備、後片付けまでを入居者と共に行ったり、希望を取り入れるなど、食事が楽しいものとなるよう支援が行われていた。 |      |                                   |
| 23                                  | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 風呂は毎朝10時から午後8時までは入浴できるように準備しており、午前中の中の入浴、散歩の後のシャワー浴など入居者の希望にそった支援が行われていた。             |      |                                   |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                   |
| 24                                  | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 毎日の買物、調理の手伝い、洗濯物たたみなど入居者の経験や知恵を発揮する場面が作られていた。   |      |                                   |
| 25                                  | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 入居者の希望に応じた計画をもとにドライブに出かけたり、日常的に散歩や買物に出かけていた。夕方の散歩にも対応できる勤務体制がとられていた。                  |      |                                   |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b>               |    |   |   |      |                                   |
| 26                                  | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | センサーに頼ることなく、入居者の出て行く気配を見落とさない見守りにより、日中、鍵をかけない自由な暮らしの支援が行われていた。                        |      |                                   |
| 27                                  | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 予め避難場所や避難経路を定め、半年に一回定期的に、消防署や地域の人々の協力を得て避難訓練が行われていた。                                  |      |                                   |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |  |      |                                   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 毎日、食事や水分のチェックを行い、栄養バランスについては、入居者と職員で考えた一週間の献立を栄養士に見てもらい、アドバイスをもらわれていた。             |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |  |      |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |  |      |                                   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者がゆっくり会話できるように、廊下に長いすを置いたり、昔から馴染みのある障子を使用したり、季節感のある手芸を壁に飾るなど、居心地よく過ごせる工夫がなされていた。 |      |                                   |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 入居者本人のひ孫の写真や使い慣れた日用品が居室に持ち込まれ、入居者の居心地のよさに配慮していた。                                   |      |                                   |